

## 地域は“自分たち”でつくるもの！

### ◇ 5月26日（火） 主権者教育

本校では、生徒の主権者意識を涵養させるため、毎年主権者教育を実施しています。

本年度は、美濃加茂市からまちづくり課とひとつづくり課の職員の方々をお招きし、「地域コミュニティと主権者意識の育成 -地域は“誰か”がつくるものではなく、“自分たち”でつくるもの-」をテーマに、座談会などを行いました。

はじめに、公務の都合で当日お越しいただけなかった藤井浩人美濃加茂市長様からいただいたビデオメッセージを上映しました。その後、美濃加茂市まちづくり課の職員様から事例紹介として、美濃加茂市の自治会や街づくり協議会など地域コミュニティの現状と課題、事前アンケートの結果共有、高校生が地域に関わる可能性とそのメリットなどをお話いただきました。

その後、本校生徒代表と美濃加茂市職員様による座談会を行いました。座談会には、美濃加茂市蜂屋でまちづくり活動を行っている「ハニカム」の代表生徒2名と、関市本町商店街で活性化イベントを企画及び実施している「本町活性化プロジェクト」の代表生徒2名が登壇しました。アンケート結果の深掘りや、各グループの活動内容の紹介などが行われました。全校生徒の80%超が「地域に関わりたい」と思っている関高生ですが、代表生徒たちが地域活動に取り組み始めたきっかけや、自身の成長との関係、どうすればもっと多くの人に参加しやすくなるかなどを考える中、体育館内にいる全校生徒からも発言が出るなど、地域の一員としての自分、まちづくりに関われる可能性を考える良い機会となりました。

また、DXハイスクールに採択されている本校では、ICT機器の環境整備と、それを活用できる生徒の人材育成も進めています。今回は、座談会の映像と発言内容を会場内にリアル配信しました。ステージ脇では、その配信作業を進めるFRH委員の生徒たちが大活躍しました。

